# 座右の銘

## 「植えられた場所で花を咲かせよ」

衆議院議員
木村　弥生

〝Bloom where you are planted.〟――この言葉に出会ったのは平成20年。米大統領選で敗れたヒラリー・クリントン氏の発言として新聞記事に紹介されていました。心惹かれ、書き留めて職場のデスクに貼りました。

私の職業人生は遅咲きです。専業主婦として育児に全力投球していた中、父（木村勉・元衆院議員）の当選に伴い議員会館で勤務することになりました。時は介護保険制度の施行前。自民党の部会を傍聴するうち「これからは看護の時代だ」とひらめき、子育てが一段落した40歳目前で看護系大学に編入学。若い学生たちに囲まれ実習や試験をこなし、看護師になりました。夜勤もしていた大学病院勤務の頃、第一次安倍内閣が打ち出した「再チャレンジ」「人生二毛作」という言葉を知り「私のことみたい」と思ったのを今でも覚えています。

専業主婦、議員秘書、看護学生、看護師。それまで場所を変えながら感じてきた問題意識の数々が、現在の政治活動の原動力につながっています。対象者が自立し、より良く生きるよう支援する、という意味においても、看護も政治も同じように感じます。

超少子高齢社会の下、看護に期待される役割はますます高まるばかりです。私は看護職国会議員として、また一人の母親として、次世代にこれ以上負担を残さぬよう、看護の視点を軸に持続可能な社会保障の実現に貢献し、置かれた状況で精いっぱい、つつましくも存在感のある花を咲かせていきたいと思います。

### 今いる場所で精いっぱい努力し、次のステップへ
### 一人ひとりが「より良く生きる」ための支援を

そして日本看護協会勤務を経て、昨年末の総選挙で北関東比例ブロックから初当選しました。一つの夢に集中し、まい進してきたというよりも、あちこちでぶつかったり転んだりしながらも、その時の使命を果たそうと頑張っていたら、また次の道が開けた、と言った方がしっくりします。それまで場所を変